

福祉サービス第三者評価事業 評価結果報告書

評価機関：一般社団法人香川県福祉サービス評価機構

実施年度：令和5年度

施設種別：乳児院

施設名称：社会福祉法人イエス団 神愛館

第三者評価結果報告書（乳児院）

種別	乳児院
----	-----

①第三者評価機関名

一般社団法人香川県福祉サービス評価機構

②評価調査者研修修了番号

H23-Y014

R3-Y001(S2021088)

③施設名等

名称	神愛館
施設長氏名	山下 茂雄
定員	29名
所在地(都道府県)	香川県
所在地(市町村以下)	坂出市中央町8-58
TEL	0877-85-3133
URL	http://Kagawa-kids.org
【施設の概要】	
開設年月日	昭和22年9月1日
経営法人・設置主体(法人名等)	社会福祉法人 イエス団
職員数 常勤職員	35名
職員数 非常勤職員	1名
有資格職員の名称(ア)	保育士
上記有資格職員の人数	21名
有資格職員の名称(イ)	児童指導員
上記有資格職員の人数	2名
有資格職員の名称(ウ)	家庭支援専門相談員
上記有資格職員の人数	1名
有資格職員の名称(エ)	里親支援相談員
上記有資格職員の人数	1名
有資格職員の名称(オ)	個別対応職員
上記有資格職員の人数	1名
有資格職員の名称(カ)	臨床心理士、看護師、栄養士、調理員
上記有資格職員の人数	1名、4名、2名、2名
施設設備の概要(ア)居室数	保育室：7室、ほふく室・寝室：3室、一時保育室：1室ほか
施設設備の概要(イ)設備等	調乳室、親子生活訓練室、包括支援室・地域交流スペース、会議室、
施設設備の概要(ウ)	事務室、休憩室、病児室、医務室、便所、防災倉庫ほか
施設設備の概要(エ)	

④理念・基本方針

<p>【理念】 「隣人を自分のように愛しなさい」（マタイによる福音書22章39節）という聖書の言葉に導かれながら、子どもたち一人ひとりの「いのち」に寄り添う。</p> <p>【基本方針】 「子どもの権利条約」の理念を大事に受けとめ、「神愛館人権ガイドライン」に沿って子どもたち一人ひとりの「いのち」を尊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが、家庭的雰囲気の中で、安心して健やかに成長できるように、小規模グループケアを行う。 保護者が安心して子どもを預けられるように保育士、看護師、栄養士、家庭支援専門員、里親支援専門相談員、心理療法担当職員などの専門職がチームとして養育に当たる。 子どもの視点に立って「気づき」を大切にし、専門職としての質の向上（人間性、専門性）に努める。 保護者が抱える痛み（養育不安、精神的不安など）に寄り添えるように、家庭支援専門員、心理療法担当職員などがサポートする。 地域で子育てしている保護者を支援するために、「子育て短期支援事業」を行う。 保育士養成学校や里親研修などの実習受け入れを積極的に行う。 関係機関と協働して、子どもの家庭復帰の促進、里親への支援を推進する。 「地域支援センター友愛館」と協働して、「いのち」が大切にされる平和な社会の実現に努める。
--

⑤施設の特徴的な取組

地域支援センター「友愛館」と協働して、地域子育て支援事業を行っている。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	令和5年6月16日
評価実施期間（イ）評価結果確定日	令和6年3月5日
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成29年度

⑦総評

【特に評価の高い点】

＜地域において、子育ての重要な拠点として存在感を発揮している＞

関係機関や団体等と協力しながら、子育て支援事業や里親支援事業を積極的に実施し、地域の福祉の需要を把握し、それに応えている。子育て支援事業では、様々な行事を企画・実施し、臨床心理士や保育士等の専門職員が地域の子育て家庭の相談に応じている。里親支援事業では、フォスタリング機関として地域の重要な役割を務めている。これらの事業実施によって、園の持つノウハウを地域に還元し、地域の中の子育ての重要な拠点として存在感を発揮している。

【改善が求められる点】

＜保護者に対する働きかけについて、より積極的な取り組みを検討されることを期待したい＞

乳児院という施設の性格上、児童相談所を介して入所することが前提であるため、保護者とのかかわりは児童相談所を介して行うことが多い。職員は、保護者が来所した場合は丁寧に傾聴し相談しやすい雰囲気となるよう努めているが、入所時の説明や保護者からの相談や意見の聴取については困難を感じている。今後も引き続き児童相談所と連携し方法を模索することで、保護者に対する働きかけについて、より積極的に取り組まれることを期待したい。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

今回コロナのこともあって、久しぶりの受審となりました。「第三者評価結果報告書」によって、施設の様々な課題を示されました。その一つ一つの課題に、職員一同心と思いを尽くして、取り組んでいきたいと願っています。そのために、次回受審に備え、優先順位を確認し、着実に成長できるように計画を立て取り組んでいきたいと考えています。

第三者評価結果（乳児院）

共通評価基準（45項目） I 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。

第三者
評価結果

①

1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。	○
<input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○
<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	○
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。	
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

理念や基本方針は、「基本理念・方針についての小さな解説書」として作成し、ホームページやパンフレットによって周知を図っている。職員に対しては、新人研修で周知している。今後は、職員への周知状況の確認や保護者に対する周知方法についても、より一層の取り組みを期待したい。

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。

第三者
評価結果

①

2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	○
<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設（法人）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	○
<input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

社会福祉全体の動向については全国乳児院協議会の機関紙や研修会、厚生労働省のホームページ等を通じて、地域の状況については、市のホームページや要保護児童対策地域協議会の参加によって、経営状況については、入所数の推移の把握や会計士より月次報告を受けることによって等、施設経営を取り巻く環境と経営状況の的確な把握・分析に努めている。

②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a
	<input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	○

【判断した理由・特記事項等】

前項目で述べた方法によって把握した情報のうち、養育・支援に関する内容については、主任会やリーダー会等の職員会議によって適宜周知し、課題を明確にして具体的に改善に取り組んでいる。財務状況については、入所数の推移や会計士の報告に基づき現状分析を行っている。経営状況や課題については、法人の経営会議や理事会等の会議によって、役員に報告し共有している。

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。

第三者
評価結果

①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

理念の実現に向けた中・長期的なビジョンとして5か年計画を策定し、その内容は、理念や基本方針の実現に向けた明確な内容となっている。今後は、期中の評価や見直しを行う等、より実態に即して日々の施設運営に役立てられるようなさらなる取り組みに期待したい。

②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	

【判断した理由・特記事項等】

単年度の事業計画は、中長期計画と同じ項目毎に作成し、実行可能で具体的な内容となっている。今後は、評価や見直しにおいても数値化するなど、出来る限り定量的な分析を毎年度実施することによって、より実効性の高い計画が策定されるよう期待したい。

(2) 事業計画が適切に策定されている。

①

6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	
<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	○
<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	○
<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	○
<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

法人の定める時期と手順によって、当年度の事業計画の評価・分析を行い、その結果を次年度の策定に活かしている。期中の実施状況の把握や変更を含め、現状では施設長が策定を担っているが、今後は、他の職員にも周知し策定に携わらせる等、各職員が事業計画を理解して日々の業務を遂行できるよう、さらなる取り組みに期待したい。

②

7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	c
<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	
<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。	
<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	
<input type="checkbox"/> 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

保護者と面談する際は口頭によって施設の運営について説明を行っているが、乳児院という施設の性格上、保護者に施設の事業計画等の詳細な説明や理解を図ることに課題を感じている。しかし、今後も最善の方法を検討することで、利用者満足の向上や運営の透明性の確保の観点から、より積極的な取り組みが行われることを期待したい。

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。

第三者
評価結果

①

8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	○
<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C: Check)を行う体制が整備されている。	○
<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的な受審している。	
<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

養育計画や自立支援計画を作成して養育・支援にあたっている。現状分析については、リーダー会等の会議で職員参画のもと養育・支援の実施状況の評価し、養育マニュアルの改定を行っている。コロナ禍での子どもの安全確保のため第三者評価の前受審期は受審を控えたが、今回の受審結果をふまえ、年1回以上の自己評価や継続した第三者評価の受審を行い、養育・支援の質の向上に第三者評価を役立てる体制が構築されることを期待したい。

②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

養育・支援の方法については、定期的に各ホーム（子どもの生活単位）の実施状況を報告し、リーダー会やその他職員会議にて評価し、養育・支援のあり方を検討し、現状に即して養育マニュアルを改定している。施設全体で実施状況の評価や課題の明確化や改善策を実施し、各職員は共通理解のもと養育・保育の質の向上に努めている。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。

第三者
評価結果

①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

平常時は「神愛館職務分掌」にて、有事においては「危機管理マニュアル」にて、それぞれの場合の職務分掌や権限委任等を明確にし、それらの職務分掌の内容は、詳細かつ具体的なものとなっている。施設長は、職員に対して自らの役割と責任を文書や会議、研修において明らかにしている。

②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

乳児院として遵守すべき基本的な法令等について、関係諸機関との連絡会議や外部研修に積極的に参加して、正しく把握・認識するよう努めている。また、その取り組みにおいて知り得た情報は、規程の整備や体制の構築・見直しに活かしており、職員に周知徹底している。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①

12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○
(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	○

【判断した理由・特記事項等】

施設長は、施設内で実施する各種会議において施設の養育・支援の実施状況を詳細に把握し、職員との面談や日々のかかわり等あらゆる取り組みを通じて、職員の全体的・個別的な課題を把握するよう努めている。課題に応じた研修機会の確保や各職員の意見聴取等、保育の質の向上を目指し意欲的に職員への教育・指導を行っている。

②

13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○

【判断した理由・特記事項等】

施設長は、前項目に記載した方法により施設の現状把握に努めたうえで、組織の理念や基本方針の実現に向け、必要に応じて人員配置や職員の働きやすい環境整備を行っている。人員配置や環境整備等の具体的な取り組みを行う際は、経営の改善や業務の実効性が高まるよう、統括主任や主任、リーダー等他の職員の意見を尊重しながら行うこととしている。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

第三者
評価結果

①

14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	○
<input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○
<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	○
<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	○
(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	○

【判断した理由・特記事項等】

各職員の意見を考慮し、組織を適切に機能させるために必要な人員を十分に確保している。家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、心理担当職員を配置し、人員体制の充実に努めている。将来に向けて人材確保の不透明感が懸念される昨今において、今後は、法人をあげてより効果的な人材確保の実施に向け、さらなる取り組みに期待したい。

②

15 総合的な人事管理が行われている。	c
<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができている。	
<input type="checkbox"/> 人事基準（採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準）が明確に定められ、職員等に周知されている。	
<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	
<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	○

【判断した理由・特記事項等】

職員の意向・意見を適切に把握し、人事管理を行っている。今後は、期待する職員像や人事基準を明確化する、一定の評価基準に基づき職員の成果や貢献度を評価する等、理念・基本方針の実現に向けたより効果的で総合的な人事管理が行われることに期待したい。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①

16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	○
<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○
<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	○
<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	○
<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	○
<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

職員の就業状況や労務管理に関する責任体制は、職務分掌により明確に確認でき、施設長と統括主任が職員全体の就業状況を適切に把握している。定期的な個別面談や日々の相談によって各職員の意向を把握し、可能な限り各職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した施設運営に努めている。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

個別面談の実施や各職員の目標設定等の方法により、職員一人ひとりの質の向上に努めている。今後は、期待する職員像を明確化したり、期中の面接にて目標の達成度を確認したり等、個々の職員の課題や解決に向けたより効果的な取り組みに期待したい。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	c
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	
	<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

単年度の事業計画において、法人や関係機関の主催する研修に積極的に参加することを掲げ、事業報告書において教育・研修の実績を詳細に文書化している。今後は、教育・研修に関する基本方針や計画をより具体化する等、より一層養育・支援の質が向上されるような積極的な取り組みに期待したい。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	○

【判断した理由・特記事項等】

各職員が法人や関係機関の主催する研修を積極的に受講できるよう、事業計画に明記して体制を整備している。日々の職員間の情報共有や連携だけでなく、若手職員を対象にメンター制度(お姉さん制度)を実施することにより、職員間の良好な関係が構築され、職員全体の知識・技術の向上に繋がっている。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①

20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	○
<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	
<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

乳児院や専門職に対する知識・理解を深めることを目的に、実習生を積極的に受け入れることとしている。実習受入要綱を策定し、実習の基本姿勢や受入時の日毎の指導内容を明確化している。今後は、指導者に対する支援の体制の確立や養成校との連携を強化する等、養育・支援にかかわる専門職の養成についてより一層の取り組みに期待したい。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

第三者
評価結果

①

21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	○
<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	○
<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	
<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。	○
<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	○

【判断した理由・特記事項等】

施設のホームページやワムネットの電子開示システムにより、理念や事業内容、財務諸表等を公開している。法人と施設のパンフレットを作成し、見学者や保護者等に配布して理念や事業内容について説明を行っている。今後は、苦情・相談の体制やその対応状況についても公表される等、より高い水準で運営の透明性が確保されるよう期待したい。

②

22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○
<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	○
<input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	○
<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	○

【判断した理由・特記事項等】

職務分掌にて事務や経理等の権限・責任を明確化し、会計士より財務状況について月次報告を受けるほか、法人の本部と緊密に連携し、法人の監事や監査法人による監査を受けている。施設は、公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取り組みを積極的に行っている。

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。

第三者
評価結果

①

23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	
<input type="checkbox"/> 子どもの個別状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	
<input type="checkbox"/> 施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	○

【判断した理由・特記事項等】

乳児院としての施設の性格上、子どもと地域との交流に関して困難を感じているが、可能な限り買い物や遊び・移動には地域の社会資源を活用するようにしている。今後は、地域交流について基本的な考え方を文書化し、より具体的に改善策を検討することで、子どもと地域の交流がさらに活発になるよう期待したい。

②

24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	
<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	
<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	
<input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

ボランティアを受け入れる際は、施設長によるオリエンテーションやボランティア開始時の担当職員による説明によって、施設の基本姿勢や子どもとのかかわり方を指導することとしている。留意事項や活動申込書等の様式を整備しているが、今後は、それらの様式を活用して基本姿勢の明文化やマニュアルを作成する等、ボランティアの受け入れ体制の強化に期待したい。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①

25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	
<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○
<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	

【判断した理由・特記事項等】

行政や医療等の関係機関を把握し、会議や研修で適切に連携している。関係機関から得た情報については施設内で共有することにより、個々の子どもの状況に対応できるようにしている。学校や幼稚園等の教育機関との連携については、現在は対象児がいないため必要性は低いが、リスト化や連携方法を文書化する等により、対象児が入所した場合の備えが充実されることを期待したい。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①

26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	○
(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設のもつ機能を地域へ還元したり、地域の関係機関・団体との連携等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	○
(5種別共通) <input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	○

【判断した理由・特記事項等】

関係機関からの情報提供のほか、さかいで子育て支援ネット（きんときネット）に加入して坂出市社会福祉協議会や地域住民と共同で「居場所づくり」に取り組む、特別事業を実施する等、地域の関係機関・団体との連携や法人独自の取り組みによって地域のニーズの把握に努め、施設の持つ機能を地域へ還元している。

②

27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	○
<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	○
<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	○
<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	○
<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

隣接する同法人の「友愛館」と共に地域支援センターとして子育て支援事業を実施しており、機関紙の作成や市の広報誌に活動予定を掲載する等、把握した福祉ニーズに基づいて公益的な事業を行っている。今後は、地域の防災対策や被災時の地域住民支援等、地域の福祉施設としての発展的な役割についても検討されることを期待したい。

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。

第三者
評価結果

①

28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の養育・支援の標準的な実施方法等に反映されている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

基本方針の一番初めに、子どもの権利を擁護する姿勢を表明している。日々の養育・支援で感じたことを職員間で共有する、毎月「人権チェックリスト」にて振り返りを行う等、各職員が人権擁護について正しく理解したうえで保育を実践出来るよう、積極的な取り組みを行っている。

②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。	

【判断した理由・特記事項等】

おむつ交換台の場所の配慮や着替え時のかかわり方等、養育マニュアルに沿って、設備・保育実践のいずれにおいても子どものプライバシーが保護されるよう配慮している。今後は、保護者や施設外に向けても施設の取り組みを周知し、施設に対する理解や信頼が高まるよう、より積極的な取り組みに期待したい。

(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	b
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	
	<input type="checkbox"/> 保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	○

【判断した理由・特記事項等】

保護者用のパンフレットを作成し、理念や基本方針、施設の概要を記載している。児童相談所を介して入所されるため、入所時の説明は児童相談所より行われることとなっており、保護者に対する施設の周知・理解には課題を感じている。今後も引き続き児童相談所と連携し、保護者がより安心して施設に預けられるよう、積極的な取り組みに期待したい。

②	31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。	c
	<input type="checkbox"/> 保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の自己決定を尊重している。	
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	

【判断した理由・特記事項等】

養育・支援に関する保護者への説明については、特段の依頼がない限り、児童相談所が行っている。今後も引き続き児童相談所と連携し、保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、より積極的な取り組みに期待したい。

③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	

【判断した理由・特記事項等】

入所前には、子どもの入所背景を把握し、子どもが無理なく施設での生活を送れるよう配慮して受け入れを開始することとしている。措置変更等により子どもが施設を退所する場合には、児童相談所を介して依頼に応じた引継ぎを行っており、退所後の相談の窓口を設置している。今後も引継ぎを児童相談所と連携し、養育・支援の継続性に配慮した手順や引継ぎ文書を作成する等、記録を残す方法での対応を検討するよう期待したい。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。

①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
	(乳児院) <input type="checkbox"/> 子どもとの日々の関わりのなかで、子どもの満足を把握するように努めている。	○
	(乳児院) <input type="checkbox"/> 職員等が、保護者等とのコミュニケーションを可能な範囲で図り、定期的に保護者等の満足を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した子どもの満足を集約する担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために検討会議の設置等が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

日々の養育・支援を通して、職員は子どもの様子をよく観察し、満足度を把握するよう努めている。主任会やリーダー一会等の会議において都度対応を協議し、実践している。今後は、子どもの満足を集約する担当者等の設置や定期的な保護者からの意見収集等、さらなる取り組みに期待したい。

(4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	

【判断した理由・特記事項等】

苦情解決の仕組みを説明した掲示物や匿名で投函できる苦情箱を設置する等、苦情解決の仕組みを整備している。苦情が発生していないため管理や保管、解決についての実績がない。今後も引き続き、保護者が苦情を申し出しやすくなるための工夫や苦情発生時の対応確認等、苦情解決の仕組みの質を高められるような検討がなされることを期待したい。

②	35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
	<input type="checkbox"/> 保護者等が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	
	<input type="checkbox"/> 保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【判断した理由・特記事項等】

玄関に苦情解決の仕組みを掲示し、苦情箱を設置しているほか、保護者が来所した際に落ち着いて対応できるよう、相談室を設けている。物的環境については十分な整備をしているが、今後は、保護者からの相談や意見をより積極的に把握できる方法を検討する等、さらなる取り組みに期待したい。

③	36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、保護者等が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者等の意見を積極的に把握する取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

職員は、保護者が相談しやすく意見を述べやすいよう丁寧に対応することを常に意識しており、保護者との良好な関係の維持に努めている。把握した相談や意見については、施設内で共有し、可能な限り迅速に対応し、日々の養育・支援の向上に役立っている。今後は、対応マニュアルの整備やアンケートの実施等、より一層の取り組みに期待したい。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

リスクマネジメントの体制を整備し、事故発生時の対応と安全確保を明確にしている。ヒヤリハット等の事例を収集した場合は職員間で共有し、原因分析と改善策・再発防止策等を実施している。今後は、事故発生マニュアルを活用し、施設内でも安全確保・事故防止に関する勉強会を積極的に行う等、さらなる取り組みに期待したい。

②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	○
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】

感染症マニュアルを策定して、看護師を中心とした各職員の役割と責任や、感染症が発生した場合の指示系統を明確にし、施設全体に周知徹底して迅速に対応できるようにしている。全ての職員が高い意識を持ち、施設全体で感染症の予防や発生時の子どもの安全確保を行っている。

③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	○
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	○

【判断した理由・特記事項等】

災害発生時の職員体制や安否確認等を明確にしたマニュアルや備蓄リスト等を整備している。全ての職員が災害時における自らの役割を理解しており、災害時の子どもの安全確保が十分になされるよう、体制を整備している。事業継続計画については、事業計画にも課題として掲げ策定に取り組んでおり、今後は、より実効性の高い内容の事業計画が策定されることを期待したい。

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。

第三者
評価結果

①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	○

【判断した理由・特記事項等】

標準的な実施方法については養育マニュアルに明記され、その内容に沿った養育・支援を行っており、主任会やリーダー会等の会議で内容を協議し、適宜改定している。今後は、養育マニュアルを活かした研修や個別の指導等、経験の浅い職員でもより高い水準で養育・支援が実施できるよう積極的な取り組みに期待したい。

②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	

【判断した理由・特記事項等】

職員は、日々の養育・支援の中で子どもの様子をよく観察し、それをもとに会議等で検討しながら日々の養育・支援を展開している。今後は、各職員が子どもに合わせてより効果的・効率的に対応できるようにするためにも、自立支援計画の見直し体制や保護者の意見・提案を把握する仕組みについて、より一層の取り組みに期待したい。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	

【判断した理由・特記事項等】

自立支援計画の策定は、心理担当職員や看護師等の様々な専門職員がかかわり、日々の子どもの様子をもとにホーム会でアセスメントを行うことによって実施しており、子ども一人ひとりに合わせた具体的かつ詳細な内容となっている。今後は、ケース会議の実施や支援困難ケースへの積極的な養育・支援の検討等、さらなる取り組みに期待したい。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者等の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

【判断した理由・特記事項等】

自立支援計画は、3か月毎に様々な職種の職員を交えて評価・見直しを行い、児童相談所に報告している。今後は、自立支援計画の変更や関係職員に周知する際の手順を明確化することにより、自立支援計画に沿ったより高い水準の養育・支援が実施されることを期待したい。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①

44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

子どもの日々の詳細な状況は、日報や熱計表に記録し、養育・支援の実施状況についても、日々の記録や会議・引継ぎ等の方法により、職員間で確実に共有している。パソコンのネットワークシステムや記録ファイルを開覧し、施設内で効率的に情報を共有・記録する仕組みが整備され、機能している。

②

45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	
<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	
<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	

【判断した理由・特記事項等】

入職時の守秘義務に関する誓約書やパソコンのセキュリティソフトの活用等、情報漏洩によって子どもや家族に被害が及ばないように、厳重に保管・管理している。今後は、記録管理の責任者を選任し、およびその設置を明文化し、個人情報保護の体制について施設内で理解を深めるための取り組みを行う等、子どもに関する記録の管理体制がより一層強化されることを期待したい。

内容評価基準（22項目）

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護

第三者
評価結果

①

A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
<input type="checkbox"/> 子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○
<input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。	○
<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

子どもの権利擁護に関する方針は、基本方針に第一の事項として明確に表明し、施設独自の人権ガイドラインを策定している。また、養育マニュアルも子どもの人権を最重要に考えた内容となっており、実施状況についても、人権チェックリストを整備して毎月振り返りを行い、子どもの権利擁護に関する取り組みを徹底している。

(2) 被措置児童等虐待の防止等

①

A2 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりについて、具体的な例を示し職員に徹底している。	○
<input type="checkbox"/> 会議等で取り上げる等により、不適切なかかわりが行われていないことを確認している。	○
<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止の視点から、職員体制の見直し等の検討・取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりがあった場合の対応方法等を明文化している。	
<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について対応マニュアルを整備し、研修会などで職員に周知・理解をはかっている。	○

【判断した理由・特記事項等】

不適切行為・虐待防止に関する規程や、人権ガイドライン、人権チェックリストを整備・活用し、特に重要と考える部分を全体会において読み合わせる等、施設全体で高い意識を持って不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。今後は、不適切なかかわりがあった場合の対応方法を明文化することによって、現行の取り組みが確実に継続されることを期待したい。

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本

第三者
評価結果

①

A3 子どものころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育んでいる。	a
<input type="checkbox"/> 乳幼児に対する受容的・応答性の高いかわりを心がけている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもと養育者の信頼関係が築かれ、子どもが不安になった時など、いつでも応じられるように養育者が側にいるよう配慮されている。	○
<input type="checkbox"/> どの乳幼児も保護者等、あるいは担当養育者、里親等、特定のおとなと個別のかわりを持つことができる体制が整備されている。	○
<input type="checkbox"/> 特別な配慮が必要な場合を除いては、基本的に入所から退所まで一貫した「担当養育制」をとっている。	○
<input type="checkbox"/> 担当養育者と個別のかわりを持つことができる時間を確保している。	○
<input type="checkbox"/> 語りかけや「だっこ」「おんぶ」などの身体ふれあいを通して心の安定を図り、心地よい状態を共有できるよう努めている。	○
<input type="checkbox"/> 被虐待経験のある乳幼児等特別な配慮が必要な乳幼児に対しては、個々の状態に応じた関係づくりを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

アタッチメントを養育・支援の軸としており、職員は、子どもの思いや気持ちに寄り添う養育・支援に尽力している。担当職員と個別にかかわることにより子どもの愛着関係を育めるよう、担当制を採用し、少人数の単位で養育・支援を実施している。職員は個別対応の時間確保に困難を感じているが、可能な限り、担当職員との外出を含めた一対一で過ごす機会を設けられるよう努めている。

②

A4 子どもの生活体験に配慮し、子どもの発達を支援する環境を整えている。	a
<input type="checkbox"/> 日々の生活リズムは発達や子どもの気持ちに沿いながら一人ひとりにあった形で進められている。	○
<input type="checkbox"/> 入所までの生活環境や身体的成長の差等から生じる子ども一人ひとりの違いを十分に把握し、尊重している。	○
<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもの欲求や要求に対し、抱いたり声をかけるなど、タイミング良く気持ちを受け止め対応している。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの個々の発達や状態に応じた適切な言葉を用い、穏やかに言葉かけをしている。	○
<input type="checkbox"/> 安定した環境の中、おもいおもいに遊ぶことができる安全で使いやすい遊具などがあり、自由に遊びに取り組めるよう配慮されている。	○
<input type="checkbox"/> 他児と区別された「自分のもの」といえる玩具、食器、衣類、戸棚などの個別化が図られている。	○
<input type="checkbox"/> 自然と触れ合える外遊びが養育者との十分なやりとりを交え提供されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

子どもは、居室や共有の広いフロアで安全に身体を動かして遊ぶことができる。居室や子ども倉庫には、年齢に合った玩具を備え、子どもが自由に選んで遊べるようにしている。衣類、コップや誕生日のプレゼントの玩具等、「自分だけのもの」を用意することで、一人ひとりの子どもの欲求や要求を受容し、家庭的環境での養育・支援に努めている。

(2) 食生活

①	A5 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 授乳は、自律授乳を基本としつつ、個々のリズムや体調に合わせて量や時間を工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 授乳時は、乳幼児を抱いて、目を合わせ、やさしく言葉をかけ、ゆったりとした気持ちで飲めるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 授乳後は、吐乳・溢乳等を防ぐために排気を十分に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 一人飲みをさせていない。	○
	<input type="checkbox"/> 生体リズムの乱れなどで自律授乳や自発的意思の授乳が難しい乳幼児には、その子の状態に応じた授乳を工夫している。	○

【判断した理由・特記事項等】

授乳の方法や配慮については養育マニュアルに詳細に明記しており、授乳環境、発達に応じた授乳の量、時間、排気のさせ方等を具体的かつ詳細に記載し、職員はそれを実践している。画一的な対応だけでなく、一人ひとりの子どもの状況に応じてその子どもに適した用具や配慮を行うこともマニュアルに明記しており、日々適切な授乳が実施されている。

②	A6 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 在胎期間も含め、入所に至るまでの経過や発育、発達状況を踏まえ、一人ひとりに合わせた食の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 個々の状態に合わせて離乳を開始し、様々な食べ物や味に慣れさせている。	○
	<input type="checkbox"/> 食事をいやがったり遊びだしてしまう場合にも、時間をかけてゆったりとした気持ちで与えている。	○
	<input type="checkbox"/> 噛む力を養うために、食品の種類や調理方法を工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 栄養士や調理員等は養育者とともに、咀嚼や嚥下の状況を確認し発育状況や体調を考慮しながら離乳食を進めている。	○

【判断した理由・特記事項等】

食育会議を毎月実施しており、施設全体で情報を共有している。離乳食については、子ども一人ひとりの入所背景や発育・発達状況を慎重に確認したうえで、その都度子どもの様子や体調を確認しながら、子どもが無理なく食事できるよう、調理職員と連携して丁寧に進めている。

③	A7 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 食事場所は清潔に保たれ、明るく楽しい雰囲気でき食事ができるよう工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが食べやすいように、身体に合わせてテーブルと椅子の高さを適切に調整している。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児が自分で食べようとする意欲を育てられるように、手に持って食べやすいものを用意したり、食器やスプーンなどに触れられるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 食前の手洗い、食前食後のあいさつ、食後の歯磨きなどが定着するよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育者や他児と一緒に食事を楽しんでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 食事の食べ方や量にばらつきがあっても全部食べることにこだわらず、おいしく楽しく食べられるように、子どもと視線を合わせ、様子をみながら言葉をかけるなど雰囲気づくりに気を配っている。	○
	<input type="checkbox"/> 日々の食生活を通じて食べたいものや好きなものが増える工夫がされている。	○
	<input type="checkbox"/> お腹がすくリズムが持てるよう、朝食・昼食・夕食の間隔は適正になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 栄養士、調理員等が、食事の様子をみたり、介助するなか、一人ひとりの発育状況や体調を考慮した調理を工夫している。	○

【判断した理由・特記事項等】

子どもが楽しく食事できるよう、他児と一緒に食事をする、会話を楽しむ等、細かな配慮を様々に行っている。調理職員は、検食簿を閲覧し、および子どもの食事の様子を注視することにより、適切な提供ができているか確認している。そのほか、子どもの気持ちを受容しながら食事のルールやマナーを身につけられるよう支援する等、食事についても子どもを尊重したあらゆる取り組みを積極的に行っている。

④	A8 栄養管理に十分な注意を払っている。	a
	<input type="checkbox"/> 十分なカロリーと栄養のバランスよい献立が、栄養士により準備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 栄養だけではなく季節感を取り入れた食事が提供されている。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の体調、疾病、アレルギー等に個別に対応した食事を提供している。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の嗜好や栄養摂取量の把握に努め、献立に反映している。	○
	<input type="checkbox"/> ささまざまな「食育」への取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 発達に応じて、食事の準備や食事作りを見たり、かかわる機会を持ち、食べることに興味関心を持つことができるよう工夫している。	○

【判断した理由・特記事項等】

食に関する施設の方針を文書化して明確に表明しており、栄養士による栄養管理やアレルギー対応はもちろん、旬の食材や産地直送の野菜の買い付けを行う、栄養士から子どもへの定期的な食育活動の実施等、積極的な取り組みを実践している。栄養管理のみならず、発達に応じて食に興味や関心を高めることができるよう、様々な取り組みを実施している。

(3) 日常生活等の支援

①

A9 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 衣類は吸湿性・通気性に富み、清潔を保ち、肌に刺激の少ない材質を使用している。	○
<input type="checkbox"/> 乳幼児の体型を考慮し、活動を阻害せず、着脱が容易なものを使用している。	○
<input type="checkbox"/> 気候調節へ配慮し、寒暖の状態に適した枚数と厚さにしている。	○
<input type="checkbox"/> 寝ている生活が主なときは前開きのもを、動きが活発になったら活動的で腹部や背中に出ないものを選ぶなど、生活実態に適し、個々の発達に応じた衣類管理を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 衣類は個別化し、個人別に収納している。	○

【判断した理由・特記事項等】

子どもの意思を尊重しながら、気候や場面に合わせた服装となるよう配慮し、日中も温度の変化に気を付けながら衣服の調整をしている。生地は綿100%の肌に刺激のないものを使用した衣類を用意している。衣服の購入にあたっては、職員と一緒に購入し、自分の好みにあった衣服を購入することができる。細かな配慮のもと、適切な衣類管理を行っている。

②

A10 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	a
<input type="checkbox"/> 室内の環境として、温・湿度、換気、明るさ、静かさ、音楽などを快適に保っている。	○
<input type="checkbox"/> 寝具の環境として、肌に触れる素材は綿素材を用い、広さ、形状、硬さなどを快適に保っている。	○
<input type="checkbox"/> 睡眠時の状況を観察している。	○
<input type="checkbox"/> 快適に十分な睡眠をとれるよう、個々の乳幼児の発達・心理に配慮した職員の対応など具体的な独自の取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

寝室に温度計や加湿器等を設置し、温度・湿度を記録している。寝具は清潔で子どもに適した大きさや硬さのものを使用している。睡眠時は少なくとも15分毎に確認し、細心の注意を払っている。子どもの個々の発達状況に応じて快適かつ十分な睡眠をとれるよう、適切な取り組みを実施している。

③

A11 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	a
<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴を毎日している。	○
<input type="checkbox"/> 浴室・沐浴槽などの設備やタオル・バスタオルなどの備品は常に清潔が保たれている。	○
<input type="checkbox"/> 乳幼児の年齢、発達、発育等、個々の状況に応じた入浴方法がとられている。	○
<input type="checkbox"/> 安心して、心地よく、楽しい入浴・沐浴になるような言葉掛けなどの配慮がなされている。	○
<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴に際し、おもちゃ等を用意し、心地よい体験になるよう工夫している。	○

【判断した理由・特記事項等】

毎日沐浴や入浴ができるようにしているが、子どものその日の状態に合わせて、子どもが清潔に過ごせるよう臨機応変に対応している。職員と一緒に入浴したり、個別で入浴する等、入浴を通して愛着関係が育めるよう配慮している。子ども一人ひとりの発達に応じて快適な入浴・沐浴ができるよう、養育・支援を実施している。

④	A12 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> おむつ交換のときに、言葉をかけながら身体をマッサージなどして、おむつ交換が心地よいものであることを伝えるように心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、排泄への興味を持てるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、おむつが濡れていないときは、便座に誘導するなどして自分から便座に座る意欲を持てるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、個々の幼児のリズムや気持ちに合わせて誘導を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

おむつ交換の際は、無理強いせず丁寧な言葉かけを行い、プライバシーを確保した場所で実施している。トイレトレーニングについては発達段階に応じて実施することとし、ごほうびシールやカードを使用して子どもが楽しみながら排泄への意識を持てるよう工夫して実施している。

⑤	A13 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 玩具の色・形や音色などを選ぶように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 戸外に出かけ、外界への興味を広げられるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 模倣遊びや職員や他の乳幼児とのふれあい遊びを通して、情緒の育成を図り、人との豊かなかかわりができるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育者や他の子どもと楽しく遊ぶことができるよう心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの五感を育てる遊びが提供できるよう工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 月齢により、収納場所を設け、玩具の個別化をし、自分の物という喜びや認識ができるよう工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの手の届く所に玩具の収納場所を設け、年齢によっては自由に出し入れて遊べるようにしている。	○

【判断した理由・特記事項等】

居室や倉庫に、発達に応じた玩具や子どもの固有の玩具があり、自由に取り出して遊べるようにしている。居室に面した日当たりの良いプレイルームでは、身体を存分に動かして遊ぶことができる。日課として散歩に出かけ、施設の外で過ごす機会を設けている。発達段階に応じて楽しく遊べるよう、様々な工夫を行っている。

(4) 健康

①	A14 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 健康観察記録を作成し、日々の健康状態の変化が一目で把握できるように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 日常的に医療機関等と適切に連携するよう努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 嘱託医による定期健康診断では、身体発育の状態や精神・運動発達・情緒的問題等について総合的な診察を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の条件や集団の構成に応じて、適宜予防接種を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 異常がある場合には、医療機関を受診するなど適切に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> ミルクや離乳食を開始した当初は、発疹などアレルギー症状の出現に注意し、異常所見が見られた場合には速やかに医師に相談し対応策を講じている。	○

【判断した理由・特記事項等】

身体測定や嘱託医による健康診査を毎月実施し、成長や発達の状況を確認するとともに、異常の早期発見に努めている。職員は、常に子どもの健康状態に留意しながら日々の養育・支援を実施しており、些細でも懸念があった場合は職員間で共有し、専門機関につなげる等、適切に対応している。

②	A15 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	a
	<input type="checkbox"/> 病・虚弱児等個々の健康状態の変化が、常に把握できるように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 服薬管理表等により、適切な服薬管理を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医の協力のもと、乳幼児の健康状態に応じた療育計画や発達支援計画などを含む支援のプログラム等を作成して、乳幼児の適切な発達を支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医による定例的な診断を受けている。	○
	<input type="checkbox"/> 異常所見がみられた場合には、速やかに専門医や主治医に相談できる連絡体制をとっている。	○

【判断した理由・特記事項等】

職員は、常に子どもの健康状態に留意しながら日々の養育・支援を実施しており、子どもの状況は、日々の職員間の引継ぎや文書記録によって、施設内で適切に共有している。病・虚弱児等の個々の健康管理については、個別の養育・自立支援計画や看護計画によって、子ども一人ひとりの状態変化に応じた支援を実施している。

(5) 心理的ケア

①	A16 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 心理的な支援を必要とする乳幼児について、保護者等への支援も視野に入れた自立支援計画や養育計画に基づき、心理支援内容が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理支援内容には、個別・具体的方法が明示されており、その方法により心理的支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理職をおき、乳幼児にも保護者等にも心理的な援助を行える体制が整っている。	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部の専門家から直接的支援を受ける体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理的なケアが必要な乳幼児や保護者等への対応に関する職員研修やコンサルテーションが行われている。	

【判断した理由・特記事項等】

心理担当職員を配置し、心理担当職員の支援内容を明示している。心理担当職員は、心理職として職員からの個別相談に応じており、必要に応じて外部の専門家の支援を受けている。入所児には、児童相談所の心理担当職員も交えて情報の共有を行っている。今後も、引き続き児童相談所と連携し、保護者に対する心理的支援についても積極的な取り組みが実施されることに期待したい。

(6) 親子関係の再構築支援等

①	A17 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員が中心となって施設と家族との信頼関係を構築するように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設が家族と共に子どもの成長を喜び合う雰囲気を大切にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 面会時に必要に応じて保護者等の養育スキルの向上を支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者等の相談に積極的に応じるための保護者等面接の設定等、専門的なカウンセリング機能の充実に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員は、家族に寄り添い、保護者等の言葉を傾聴する役割を担っている。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の協働養育者として、日常生活の様子を写真やお手紙に書いて家族に伝えている。	○

【判断した理由・特記事項等】

保護者との関わりについては、児童相談所が主として行うこととなっているが、児童相談所による支援の内容を共有し、保護者が施設に訪れた場合には、保護者の言葉に傾聴して信頼関係を構築するように努めている。今後は、保護者の相談により積極的に応じられるよう、カウンセリング体制が強化されることを期待したい。

②	A18 親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 家庭支援に関する具体的なプログラムや配慮事項が明記されている。	
	<input type="checkbox"/> 入所理由の理解とケアの方向性についてアセスメントしている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもと家族との関係調整については、定例的かつ必要に応じて児童相談所等と協議を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、施設宿泊、一時帰宅などを計画的に設定し、乳幼児と保護者等との関係性が好転し、保護者等の養育意欲が向上するよう支えている。	○
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅後の乳幼児の様子を注意深く観察し、家族からの不適切なかかわりがあった場合には、その発見ができるように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 課題の内容によっては適切な機関につなげられるよう、地域の精神、心理相談のできる機関を十分に把握し、連携をとっている。	
	<input type="checkbox"/> 児童相談所を中心とした他機関との協働により、虐待の未然防止と家族機能の再生、親子関係の再構築に向けてのサービス資源の提供などのソーシャルワークを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

児童相談所と連携し、役割分担をしながら家庭支援専門相談員が中心となって家族支援に取り組んでいる。親子交流の前後では、保護者や子どもの様子を注意深く観察し丁寧に会話をすることで、関係改善に向けた支援の方策を検討・実施している。具体的なプログラムやアセスメントについては児童相談所が行っているが、今後は、児童相談所と引き続き連携し、より効果的な家族支援に取り組まれることを期待したい。

(7) 養育・支援の継続性とアフターケア

①	A19 退所後、子どもが安定した生活を送ることができるよう取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもの退所先に応じて、退所後の生活に向けて必要な支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 退所後、施設に相談できる窓口(担当者)がある等、必要に応じた支援をするための体制を整えている。	○
	<input type="checkbox"/> 児童相談所や関係機関、民間団体等と連携を図りながら退所後の支援を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

退所後も子どもが安定した生活を送ることができるよう、退所先との連携や情報共有、保護者に対する相談窓口の案内等、子どもの退所先に応じて柔軟に退所支援をしている。今後は関係機関や民間団体等と連携を図りながら、継続した退所支援が行われることに期待したい。

(8) 継続的な里親支援の体制整備

①	A20 継続的な里親支援の体制を整備している。	b
	<input type="checkbox"/> 養育単位の小規模化による家庭的養護の推進や、早期に家庭復帰が見込めない乳幼児には個々の状況に応じて里親委託を推進している。	○
	<input type="checkbox"/> 里親委託の推進に当たり、里親支援機能の充実などの中・長期計画を明確にしている。	
	<input type="checkbox"/> 里親支援専門相談員を配置するなど、里親委託の推進、地域の里親及びファミリーホームに対する継続的な支援の体制を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 里親委託に当たり、委託に至るまでに里親・児童相談所等と丁寧な連携を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 里親を希望する地域の人を対象に相談を行うなど、支援の取り組みを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談支援のほか研修、レスパイトを行うなど、里親の状況に応じた取り組みを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

施設は、フォスターリング機関として里親支援相談員の配置や里親委託事業の実施等、関係機関と連携して里親支援に積極的に取り組んでいる。今後は、中長期計画の項目の一つとして里親支援に関する事項を設定することにより、里親支援の取り組みが継続・発展されることを期待したい。

(9) 一時保護委託への対応

①

A21 一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	b
<input type="checkbox"/> 児童相談所と連携して、初期の情報共有とアセスメントに努めている。	○
<input type="checkbox"/> 一時保護を受ける際のマニュアルが整備されている。	
<input type="checkbox"/> 入所時の健康管理に努めている。	○
<input type="checkbox"/> 感染症やアレルギー等の観察と配慮に努めている。	○
<input type="checkbox"/> 多様な職種が連携・協同し、一時保護後の養育環境(家庭復帰・里親、児童福祉施設等)の確保に向けてアセスメントに基づく支援を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

初期の情報共有や入所時の健康管理に十分に留意して養育・支援を開始している。児童相談所と連携して、一時保護が終了した後の養育環境の確保に向けてアセスメントに基づく支援を行っている。一時保護の体制は、基本的には通常の措置の場合と同様の手順によって実施することとしているが、今後は、子どもの状況に合わせたより適切な対応ができるよう、一時保護の際の手順・マニュアルの策定についてあらためて検討されることを期待したい。

②

A22 緊急一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	b
<input type="checkbox"/> 児童相談所から緊急一時保護を受け入れている。	○
<input type="checkbox"/> 緊急一時保護を受ける際の手順が整備されている。	
<input type="checkbox"/> 観察室での「観察期間」の実施を順守して対応を行っている。	
<input type="checkbox"/> 入所時に、必要に応じて医療機関との連携をはかる等の対応を行っている。	
<input type="checkbox"/> 感染症や潜伏期間等への対応が十分にできている。	○
<input type="checkbox"/> 受け入れ後の多職種による連携したアセスメントが実施されている。	

【判断した理由・特記事項等】

感染症検査を行い陰性が確認された場合は、児童相談所から緊急一時保護を受け入れている。緊急一時保護の体制は、基本的には通常の措置の場合と同様の手順によって実施することとしているが、今後は、緊急一時保護の際の手順・マニュアルの策定およびアセスメントについてもあらためて検討されることを期待したい。